

H26年度 第1回物部川地域アクションプランフォローアップ会議の概要

日時：9月5日（金）14:00～16:30

場所：香美農林合同庁舎 1階大会議室

1 議事等

- (1) 産業振興計画関連 年間スケジュールについて
H26年度の年間スケジュールを説明
- (2) 地域アクションプランについて
 - 1) 第2期物部川地域アクションプランの進捗状況等について
 - ・上半期の進捗状況等について説明
 - 2) 追加の案件について
 - ・「土佐山田えびす商店街を中心とする地域の活性化」について説明
 - ・案について了承された
- (3) 産業成長戦略について
 - 1) 地域観光について説明
 - 2) 移住促進の取り組みについて説明

2 意見交換

<産業振興計画関連 年間スケジュールについて>

特になし

<地域アクションプランについて>

- ・えびす商店街の活性化について、改めて商店街の形や役割を考えると、移住につながってくるのではないかと。物部川地域は空港から近く交通の便もよい。移住の方はいきなり地域に入るのは大変なので、移住を志す人に、例えば、えびす商店街を起点にして一定期間、県内を見回ってもらう。商店街の空き店舗は移住の方が、シェアハウスやチャレンジショップとして利用できるようにする。商店街や周辺には人も多く住んでいるので、コミュニティの場であるふらっと中町などを中心に地域の人と交流し、情報交換できるようにする。

例えば、レストラン開業を目指す方が、体験的に商店街のレストランで東京の美味しいものを出すというようなことでも、町の活性化になるのではないかと。地域の本当の活性化を目指し、これからの商店街のあり方を考えていきたい。

まち歩きならぬ、住み歩きマップも作りたい。

→このアクションプランは、商工会、えびす街協同組合、移住してきた方も含めて提案させてもらった。商店街の活性化というのは、通常、商業に重点を置くがそれだけではなく、コミュニティを作っていくことが大事。今回地域アクションプランに追加するえびす商店街での取組をモデルにして、香美市内のみならず香南市や南国市の他の商店街にもこのような取組を広げていきたいと考えている。ここをモデルに、今後いろいろな成功事例を作っていきたい。

- ・ニラの産地力強化について、長雨や台風の影響を受け、品薄で単価も高い。12月から2月は高知県のニラが市場で最も必要とされる時期なのに、それに合わせた生産をしていなければ出荷するニラがなくなる。早急に県域で、各地の現状を把握し、市場への対応も含め、関係機関と生産者で協議してほしい。信用をなくさないためにも、ぜひお願いしたい。

→日本一の産地で消費地への安定供給は宿命であるが、この天候でニラの株は貧弱な状態。県の担当課とも話し合い、JA とも一緒に情報交換し、今後の県の対応を協議する。

- ・8月は日照時間39%という中で、ニラ以外にも大変な被害が出てきている。自然災害被害の克服が課題。他の産地に一番のシェアを取られることは、産業基盤の大きな崩壊にもつながるとJAも危機感を持っている。

また、米の安値で採算が取れなくなると、作り手がなく耕作放棄の拡大にもつながる。これらの問題があることも捉えておいてほしい。

<産業成長戦略について>

- ・移住について、移住した方が定住せずに帰った人数とその理由を把握しているか。
→実際にはサンプル数がかなり少ないため、定住されずに帰った数と理由は把握できていないが、移住推進プロジェクトという任意団体からは、就農希望でやってみたら軌道に乗せるのが難しかったとか、地元の両親の具合が悪くなって帰らざるを得なくなったという事例を聞いている。
- ・プライバシーが守られていなかったというのをTVでやっていた。地区の半数以上が移住者という地区では、そこがどんな地区なのかをまずよく聞き、試しに住んでみてから移住を決める取組をしているという。
→移住を希望される方が、地域の慣わしや出役、お祭りなど十分認識できるよう入口は大事であると考えている。田舎ならではの良いところが、都会の方には煩わしく感じられる場合があるので、地域移住サポーターに地域の状況を細かく説明し理解を深めていただく取組も進めていきたいと考えている。
- ・移住の話で、弱いところを補ってくれる方をぜひ迎えたい。中山間の農業に関心がある方がいれば迎えたい。迎える側がウェルカムすることも大事。そしてあるがままの弱いところを強くしていけるような、魅力のある地域にしていきたい。
- ・三宝山の有効活用について、観光の拠点化づくりは、広くアイデアを募集し、それを基に業者に構想の提案をもらい一者に選定して、基本構想の策定を依頼する段階にきている。拠点づくりには、皆さんにも協力をお願いしたい。
- ・物部川流域全体のシンボリックなものにもなり得るだろうし、観光の核として、地域住民や市、県及び地権者である民間会社と一緒に取り組んでいきたい。
- ・物部川にかかる取組について、物部川の源流域から下流域まで、川を中心とした地図をつくることと、命と生活を育む川としてありのままの姿を紹介できるプロモーションビデオをつくることの2点を提案する。理由は、物部川そのものを広く認知してもらい、アクションプランや日常の取組を強力に後押しでき、産業振興にも広く役立つと思うから。
- ・物部川に関わる3流域と一緒にアクションプランを考えていくことには賛成。
- ・南国・香美・香南に住む高齢者でこの3市の地域をよく知らない人がたくさんいると思う。観光を興していくためには、地域住民が自分の住んでいる地域を本当に愛していくことが必要だ。そうすれば県外へもPRができ、県外へ出た人にもアプローチができるのではないかと。地域住民に対するインパクトを私たちは考えていかなければならない。

高知県産業振興推進部計画推進課（地域産業担当）

電話 088-823-9334

FAX 088-823-9255

メール 120801@ken.pref.kochi.lg.jp